



JP-MIRAI ニュースレター Vol.41 2023.6.30

毎月 1 回、外国人労働者やビジネスと人権に関する情報、事務局の取り組みなどをニュースレターでご紹介します。JP-MIRAI のイベント情報は、「JP-MIRAI イベント短信」で、タイムリーにお届けいたします。

ヘッドライン

1. 「JP-MIRAI セーフティ」(アプリ版)活用しよう！
2. 【報告】国際機関や NGO との意見交換
3. マダガスカル農業人材の活躍を支援しよう！
4. 事務局からのお知らせ

1. 「JP-MIRAI セーフティ」(アプリ版)を活用しよう！

JP-MIRAI は、2023 年 6 月より、外国人労働者が自身の労働・生活環境が適切かどうかを判断できる自己診断アプリ「JP-MIRAI セーフティ」の運用を JP-MIRAI ポータルアプリで開始しました。簡単な質問に答えながら、労働者自身が自分の置かれている状況を確認していくことができます。質問内容は、全ての在留資格に対応しています。問題があるかもしれないと思った人は、外国人向け相談窓口「JP-MIRAI アシスト」に相談する、或いは相談窓口から連絡をもらうこともできます。

JP-MIRAI セーフティは、外国人労働者自身の人権について気付きを与える啓発ツールであると同時に、企業協働プログラムの中で活用する場合には、問題の早期の問題発見～予防策の人権デューデリジェンスのツールともなり、受入企業にとっても、企業の評価や外国人労働者の継続的受入れの観点でメリットがあります。

JP-MIRAI では、9 月～11 月には「JP-MIRAI セーフティ」の利用を一層促進するため、「外国人労働者の人権をまもるキャンペーン」の展開を予定しています。本キャンペーンにご関心のある会員様は、事務局までお問合せください。



「JP-MIRAI セーフティ」の詳細

<https://jp-mirai.org/jp/news-ja/20230606/>

2. 国際機関や NGO との意見交換 ～ 海外でのサプライチェーン管理に向けた動き～

JP-MIRAI の今年度の活動計画として、①責任ある外国人労働者の受入のためには、送出国におけるリクルートプロセスの改善、②会員企業の海外でのサプライチェーン管理での協働のため、国際機関や NGO との情報交換を積極的に行っています。6月は国連開発計画(UNDP)、国際移住機関(IOM)、責任あるビジネスアライアンス(RBA)、NGO「ISSARA」との協議を行いました。

RBA はグローバルサプライチェーンにおける社会的責任を推進することを目的とした世界最大の非営利企業連盟で、2004 年に創立されました。現在は、日本企業を含めて製造業を中心に 200 社以上のメンバーが行動規範に則りビジネスと人権に関する取り組みや能力向上を進めています。東京で開催された RBA Dialogue(非公開)にて、JP-MIRAI の取り組みについて説明を行い、JP-MIRAI アシスト、JP-MIRAI セーフティ、認証制度(構想段階)、倫理的なリクルートなどの取り組みについて一定の評価を頂き、今後連携について話し合いを続ける予定です。

IOM は、民間企業との協働により、ビジネスと人権のプロジェクト(CREST)を行っており、6 月には担当者が来日し、情報交換を行いました。IOM 側からは、JP-MIRAI の会員企業向けに、CREST プロジェクトを紹介するセミナーを近く開催する方向です。

ISSARA は、多くのグローバル企業の拠出により運営されているタイの国際 NGO です。労働者側の声を基にしたデータ分析ツールや労働者の人権保護に取り組む企業にタイ及び周辺国でサービスを提供している NGO です。今回の協議では、日本企業が ISSARA のサービスを利用するのみならず、ISSARA に参加する企業が、日本で JP-MIRAI のサービスを活用する提携などの可能性について議論を行い、秋に向けて具体的な協議を進める予定です。

海外でのリクルートプロセス改善やサプライチェーン管理などにご関心の会員の方がおられましたら、是非事務局までお知らせください、

3. マダガスカル農業人材の活躍を支援しよう！

マダガスカルは、人口約 2,900 万人、国土面積は日本の約 1.6 倍あるインド洋の島国です。人口の約 86.5%が農業に従事する(2018/INSTAT)一方で、農業が GDP に占める割合は 24.7%(2020 年/世銀)に留まり、生産性の低い状況にあります。



平均年齢は 22.4 歳と非常に若く、この若年層、特に高学歴の失業率が高い傾向にあります。また、最低賃金はインドネシアの約半分と、人件費がアジアの国々と比較して各段に低いことも特徴です。

こうした状況の中、JICA は 2023 年 1 月、マダガスカルの農業分野の人材育成及び日本の労働力不足解消へ貢献するため、同国の若手農業人材を日本へ特定技能労働者として送り出すパイロット事業を開始しました。

稲作が盛ん。コメの消費量は日本の約 2 倍！

既に農業系の専門学校、大学などの卒業生から選抜された 20 名が 7 月の日本語能力検定試験に向けて勉強に励んでいます。文化的にもアジアに近く、勤勉な国民性で、どこか日本人らしい性質も感じられるマダガスカルの人々。日本で得た経験を母国の農業に役立てたいという強い意欲のある若者が集まっています。

6 月 20 日、「マダガスカル外国人材受入パイロット事業説明会」を開催し、JICA マダガスカル事務所から農業人材受入れにご関心のある企業・団体の皆様に、事業の説明を行いました。パイロット事業を通じたマダガスカル農業人材の育成協力にご関心のある企業・団体様は、以下の URL からご登録ください。

▼問合せフォーム

<https://forms.office.com/r/6c0M5HKjbj>

▼説明会の録画と事業に関する説明資料は以下の URL からご覧ください。

<https://jp-mirai.org/jp/activity-reports-ja/202306.07/>

▼関連動画

マダガスカル農業と若手農家たちを紹介する動画です。マダガスカル農業生産を進歩させたいという熱い思いが伝わってきます。ぜひご覧ください。

<https://youtu.be/rTh-qXZQHUA>

4. 事務局からのお知らせ

(1) 7 月 12 日(水) 16 時~17 時 30 分「新規会員説明会・座談会」開催(オンライン)

▼プログラム詳細・申込方法(以下のリンクをご参照ください)

<https://jp-mirai.org/jp/members/newcomer/> (パスワード: jpmirai2021)

(2) 7 月 20 日(木) 15 時 30 分~17 時「2022 年度下期会員活動報告会」開催(オンライン)

▼申込方法(以下のリンクからお申込みください)

https://zoom.us/webinar/register/WN_8uAoQJMERzurNN_vK41HuA

(3) 7 月 21 日(金) 14 時~15 時「JP-MIRAI”はじめての”ビジネスと人権 2023」開催(オンライン)

▼申込方法(以下のリンクからお申込みください)

https://zoom.us/webinar/register/WN_x_tJsQcQTauW4uhaXBDpKQ

JP-MIRAI ポータル

官民が協力して作っている外国人のみなさんが安心・安全に日本で働き・暮らす為の総合サイト

*JP-MIRAI ポータルのアプリ

外国人の方が安心・安全に日本で働き・暮らすための役立つコンテンツを提供するアプリです。

どの在留資格の方にも、役立つ情報があります。

ぜひ、お近くの外国人の方にアプリのご利用を広めてください！



*アプリのインストールはこちらから！



*アプリの使い方は[こちら](#)から

広報チラシ

—JP-MIRAI ポータルの広報ツールとして3つの機能(ポータル、アシスト、フレンズ)とスマートフォンアプリを紹介

—9言語([日本語](#)、[英語](#)、[中国語](#)、[ベトナム語](#)、[タガログ語](#)、[インドネシア語](#)、[ミャンマー語](#)、[ポルトガル語](#)、[スペイン語](#))の展開

情報拡散に是非、ご活用ください！

紹介動画([日本語](#)・[ベトナム語](#))

JP-MIRAI ポータルをより多くの方にわかりやすくご紹介する動画

JP-MIRAI フレンズ

外国人と日本人でコミュニケーションができるサービス

広報チラシ

([日本語](#)、[英語](#)、[中国語](#)、[ベトナム語](#)、[タガログ語](#)、[インドネシア語](#)、[ミャンマー語](#)、[ポルトガル語](#)、[スペイン語](#))

JP-MIRAI アシスト

多くの悩みを抱えた方の為の相談サービスを行っています

責任ある外国人労働者受入れプラットフォーム(JP-MIRAI)事務局



※会員専用ページのパスワードは、入会手続き完了のメールもしくはイベント短信をご確認ください

ニュースレターの配信停止・配信先変更などは ask@jp-mirai.org までご連絡ください。

※会員の方はイベント短信も配信停止となります※